



1985年11月号 NO.11

## 第1回ウッドフェアが好評裡に開催される

木材団地まつりとして組合が主催した第1回ウッドフェア（廉価即売会）が去る10月27日（日曜日）、ウッドルーム大阪と木材乾燥工場で行われた。前日の雨模様の天気も一転して絶好の秋晴れとなり、オープンした9時過ぎには沢山のお客が詰めかけ、10時前後には会場がほぼ満員となる盛況ぶりであった。用意した金剛駅からの送迎バスの利用者も多く、マイカーの客を中心に終日延1万～1万2,000人の来場で賑い、当局の予定では最低2,000人の来場客を期待していただけに大成功であったといえる。



（ウッドフェア会場）

会場に於てられた木乾工場には家具や住宅機器を中心に日曜大工用品や園芸品、雑貨類その他軽食などの出店コーナーが並び、広い会場が目一杯使われ活況を呈した。一方ウッドルーム大阪の会場には木製品クラフトをはじめ工芸品、唐木製品やエクステリヤ商品などバラエティに富んだ商品が数多くそろえられ、とくに木製品小物売場には子供連れの客でごったがえし“木”に対する関心の深さを窺わせた。

なお今回のウッドフェアは当組合で初めての試みでもあり、各企業は不安と期待が錯綜する中で、日頃、末端消費者との接触が少ない木材関係業者にとってこのフェアに全く手さぐり状態で参加した企業、試行態度でのぞんだ企業、或いは半身の構えで参加した企業など、思惑はさまざまであったと思われるが、いずれにしても次回開催への希望をつなげる有意義なフェアであったことは間違いないようである。

最後にこのウッドフェアの実行に対して、松尾委員長以下委員の方々の再三にわたる打合せ会が行われ、大変なご苦労があったことを付け加えておきたい。

## 全員例会の開催

去る10月20～21日の2日間、恒例の全員例会が片山津温泉で行われた。参加人員は38



名（組合員34名）で初日はバスの中で業務報告等が行われ、はじめに60年度上半期の業績と下半期の見通しなどについて中川理事長から説明がなされたあと、今年度の組合運営に関する活動状況について各委員会から報告が行われた。当日夜は全員による懇親会が行われ、翌日には観光組（金沢市内観光）とゴルフ組（芦原ゴルフ場でコンペ）に分れて夫々懇親の和をひろげた。

なおゴルフコンペでは山谷吉良氏（ヤマキインテリヤ(株)社長）が優勝し、又細見光夫氏（大阪化学振興(株)工場長）が準優勝となり、夫々理事長杯と楯が贈られた。

## 【 理事会の議事録から 】

### ★ 組合遊休土地の利用について

現有の組合遊休土地についてその有効利用を進めるよう検討した結果、右図のとおり利用乃至処分していく方針が決った。

（但し処分土地は来年度以降）

このうちA用地についてはD I Y店の進出が決っているが、C及びD用地についてはかねてより懸案のレストラン及びスーパーマーケットを設置することになり、早い時期に具体案がとりまとめられる予定である。



### ★ ウッドフェアの開催について

第1回のウッドフェア（木材団地まつり）を今年度10月27日（日曜日）に開催することになり、組合員、企業18社が参加し、一般消費者を対象に各社が扱っている商品の廉価販売を行うこととした。

### ★ 組合パンフレットの作製について

現在使用中の組合パンフレットは昭和57年に作製されその後新しい組合員も増加し、内容記事に訂正すべき項目が増え、且つ在庫も払底したため、今回新たな企画のもとに予算200万円で対外用のパンフレットを作製することとなった。なお作製に当たっての企画には、成瀬良彦委員長他4名の委員がスタッフとなって担当することになっている。

### ★ 団地内通行バスの増便対策について

団地内の会社従業員や地域住民の通勤、通学等の便をはかるよう運行バスの増便を働きかけていくため、先ず現状の実態を把握することにし、団地内企業（員外企業6含む）及び地区住民の全世帯にアンケート調査を行うこととなり、その結果をふまえて次の対策を講ずることになった。

### ★ 工場用ガスの引込工事について

大阪ガス(株)より当団地内の幹線道路（309号線より団地中央線の木材団地中バス停を経由しバンボー工業(株)までの間）に工場用ガスの本管引込みについて申込みがあったが

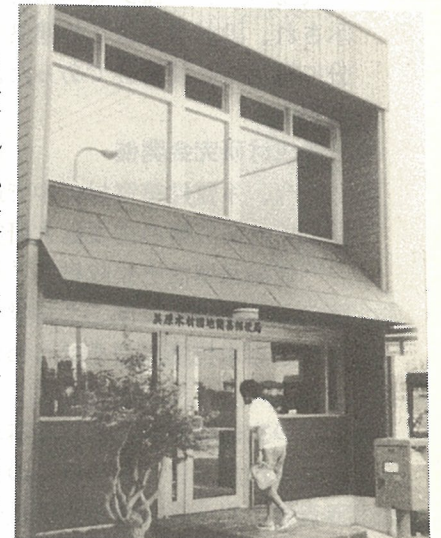
将来、組合員企業の地域内にガス需要が生じた場合、それに対応した本管の敷設工事は大阪ガス(株)が投資負担することで本施工を認めることとなった。なお本件工事は、60年11月より12月にかけて行われる。

## 【 美原木材団地簡易郵便局がオープン！ 】

去る9月2日、念願の「美原木材団地簡易郵便局」の業務が開始された。当日、「ウッドリーム大阪」研修室に関係者を招いて開局記念祝賀披露パーティーが開かれ来賓として塩川正十郎衆議院議員ほか、左藤郵政大臣秘書、山本美原町長、近畿郵政局第二施設課長、近隣郵便局長らが出席、はなやかな幕開けとなった。

開業初日はさすがに忙しく、組合員をはじめ附近の住民、小学生ら多数の利用があった。

開業以来2か月、まずは順調な業績をおさめています。今後オンラインの導入、“特定郵便局”への昇格を考慮した場合、もう一步業務取扱の拡大をはかりたいところで、関係者の方々の一層の利用増加が期待されている。



（美原木材団地簡易郵便局）

## “ 木栄会 ” だより

### ★ 木材団地卓球同好会の発足

9月中旬に会員の募集を行い、部長に門崎真澄氏（大平林業(株)）を迎えて去る10月12日より本格的に練習を開始しています。一応練習日時は毎週水曜日・土曜日の午後6時から9時までで毎回約10名前後の会員がオフタイムを利用し体力増進・ストレス解消のため趣味と実益を兼ねて汗を流しています。なお近々各社の対抗戦を行いたいと思います。（会員の募集は随時行っておりますので加入希望の方はお申し出下さい。）

### ★ 木栄会英会話同好会の発足

予てより準備募集をしていた英会話同好会が、東部木材の高島社長のお世話で、10月7日第1回教室を開き発足した。講師には、守田万里子先生を招き19名の会員が毎週月曜日6時から9時まで「木青会館」で国際人を目指し勉強にはげんでいます。

### ★ 親睦委員会事業“焼肉パーティー”の開催

去る10月4日午後6時より「ウッドリーム大阪」南側緑化ゾーンにおいて親睦委員会の事業“焼肉パーティー”が参加者38名と盛大に行なわれた。パーティーも盛り上がった頃、アトラクションとしてカラオケのど自慢大会が行なわれ各社の歌自慢が時の過ぎるのを忘れて美声をふるった。各賞入賞者は下記のとおりです。

優賞	松下貴美代 牧山 孝司	（事務局）	第2位	浦本 雅史	（浦本木材(株)）
敢闘賞			中畑 安伴	（中畑木材(株)）	
第3位	鱗川 章	（(株)葵建装）		花井 清	（事務局）



## “ウッドリーム大阪”だより

### ★ 木材知識講習会「銘木の世界」開催

標記講習会が大阪銘青会の協力を得て開催（60. 9. 19）された。

①“銘木総論”に始まり、②“天然丸太・北山床柱・変木” ③“唐木” ④“天井・造作材” ⑤“床用材”と5つの部門で各々講師が熱弁をふるわれた。

会場には、多種多数の原品見本及びふだんあまり聞くことの出来ない銘木の価格も表示され、設計者をはじめ建築・建設関係・木材関係と約80名の多方面からの聴講者が十分に満足した講習会であった。

### ★ 集成材研究会開催

昨今、木質建築資材の中で最も優れた品質と性能を持っている部材という高い評価を得ている集成材の需要拡大研究会が開催（60. 9. 27）された。

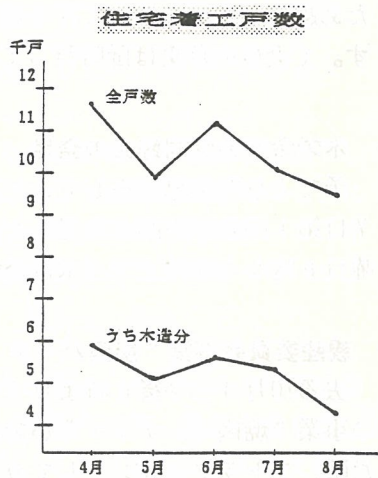
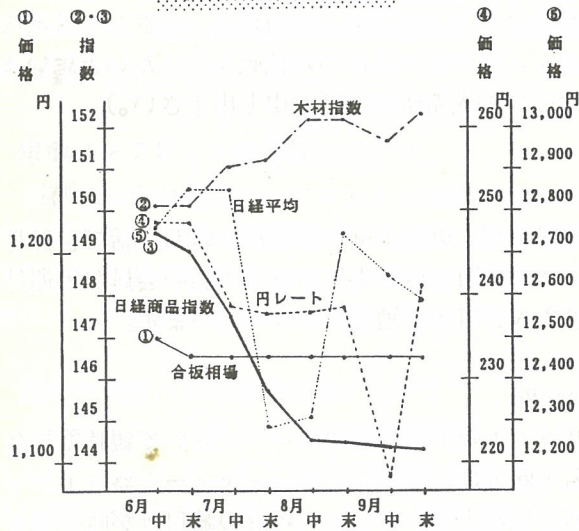
“建築基準法と集成材”“集成材という材料”“構造材について”の3部門で各々講師の説明があった後、“科学された木・集成材”というビデオの放映で幕を閉じたが、参加者も木材関係者をはじめ建築・建設関係者など100名と多数にのぼり盛況であった。

### ★ 木の文化講演会「木材と木工芸」開催

去る10月8日“木の日”の行事として、富山県井波町在住の川原和夫氏（木工芸日展審査員・北斗賞・文部大臣賞受章作家）を講師に招き、「木材と木工芸」と題した第2回木の文化講演会を開いた。

講演後同氏作品の列品解説があり、中学校木工教師・美術家・舞踏家・素人工芸家・建築設計家等、いろんな立場の人々から熱心な質問があり、聴衆約40人と時の経過を忘れるさわやかな講演会であった。

### 市況情報



### 『団地内のうごき』

### ★ 三階建木造建築委員会が発足

懸案となっていた三階建木造住宅に関して去る10月18日、第1回の委員会が開催された。

この三階建木造住宅は昨年より公式に認められることになったが、現在のところ建造の実績はなく、当組合で建造すれば全国で初めてのケースということになる。同委員会では先ず手始めに三階建木造住宅についての知識習得を兼ねて一般の方も参加できる研修会を行い、建築についてのノウハウを普及することになっている。（研修会は来る11月21日午後1時より日本住宅木材技術センター理事長、上村武先生を講師に招いて行われる。）

なお今回、組合で建造しようというこの三階建木造住宅は、サンプル住宅として公開もするが、格安に建築する予定であり、近く買主を募集した上で建築にとりかかることになっている。

### 【組合員企業の紹介シリーズ】

〔その11〕 協同ベニヤ株式会社 社長 菅原 一郎



当社は昭和26年大阪市大正区に創業（現在本社、大阪市住之江区）32年輸出用高級化粧ばり合板工場を設置、38年化粧ばりフローア、40年プリント合板を製造、44年宅地造成、分譲住宅販売、53年防虫処理化粧フローア A Q 農林水産大臣認証を受け、同年美原木材団地に輸出向化粧ばり合板専門工場として美原工場を新設、その後、フローアの需要ののびに対応して、フローア製造も同時に生産体制に入りました。

社訓「和親協同」（和を以って親愛し協同一致、それぞれの職責を完うして社会に貢献せん）、をモットーに社長以下社員一丸となって住宅環境における木材の幅広い利用価値を探究し、天然木の良さをいかす製品開発に研究を重ねて邁進しております。

化粧フローアの生産量においては、おかげさまで全国の25%のシェアを占めるに至りました。団地内各突板工場や突板用材会社に変えて大変お世話になり、隣組として有無相通じる便利さを有難く思っております。

今後共より一層のご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

### 【木材の知識】……その2

#### 木の住まいと5つの誤解

……………木造住宅に対する誤った評価を正しく理解するために……………

Q1. 木造住宅は長持ちしないか？

A…木造住宅は木材に合った正しい工法や使い方、材料の選択がしてあるため、手入れなどに、気をつければいくらかでも長持ちさせることができ、じめじめした状態におかなければ木が一番耐久性がある。

Q2. 木造住宅は地震に弱いのか？

A…同一重量あたりの強さを鉄やコンクリートと比べた場合、木材は軽いわりに強度的にすぐれた材料である。比強度（材料の強さを比重で割ったもの）では材料は引張りの強さで鉄の約4倍、圧縮の強さでコンクリートの約5倍もの強さを持ち、はりや柱の材料には最も適しており、地震に耐える力は抜群である。

Q3. 木造住宅は火災に弱いのか？

A…鉄やアルミニウムは熱を伝え易いため、火事のときに軟化溶融が生じるが木材は熱を伝えにくい上、熱によって軟化しない。





Q 4. 木造住宅は居住性が悪いか？

A…木は温度や湿度を調節し、また木材を多く使った木造住宅には光をやわらげるとか、はだざわりがよいとか、吸音率が高いなどの特長があり、木造住宅の住み心地は極めてよく、しかも適切な施工によって高い性能を確保できる。

Q 5. 木造住宅は値段が高いか？

A…値段が高い安いというのは相対的なもので、ことに性能との関連が問題であり、木造住宅は高い性能をもつうえ、決して高くはなく同じレベルで比較するとむしろ廉価である。

(財) 住宅木材技術センター刊

上 村 武 著

“木と日本の住まい”より

## 『ちょっと一言』

トリスミ集成材(株) 貝本富之輔



木材需要拡大のためには、建築基準法や消防法を改正してもらわなければならないという声が多い。200㎡以上の集会場が木造では建てられない等は不当規制の最たるもので、これ等は大幅に緩和してほしいが、いくら法律で木材の使用制限が緩和されても設計士なり施主なりが、木材を使って良かった、木材を使わなければ損だと思ってくれなければ木材を使わない。逆に木材を使う程良いと思えば200㎡以上の集会場でも展示場と名称を替えれば500㎡まで木造で建てられるのであるから法のウラを考えてでも木を使ってくれるのである。要は木材の良さをもっと知ってもらうこと、良い材を安く安定して供給することが、木材需要をのばす最大の要素である。

## 【事務局だより】

### ★ 事務局にパソコンを導入

去る10月15日、事務局に待望のパソコンが導入されました。今後この機能をフルに活用し、組合の財務管理全般、組合員データの管理等に利用し事務の合理化に役立てたいと思います。

### ★ 女子職員の採用について

このたび美原木材団地簡易郵便局の職員として採用された 石原さゆり さんが、去る9月2日より勤務することになりました。

## 【編集メモ】



第1回ウッドフェアが盛況裡に行われた。木材業界にたずさわる我々にとって、「木材」を一般大衆にPRする絶好の機会であったことはまちがいないと思う。

このウッドフェアが毎年回を重ね、木材団地全体の一大祭典に発展することを期待したい。